

資料 1-1 備えるべき防災用品等リスト

防災用品等は各施設の実情にあわせて、自立して3～4日間過ごせるだけのものを備蓄する。

非常用持ち出し品	
●非常用食品類 ☐ 長期保存水（1人あたり3L/日を目安に） ☐ 主食（アルファ化米、缶詰パン、乾パン） ☐ 副食（副菜用缶詰/レトルト食品） ☐ 栄養補助食（飴、チョコレート） ☐ 食品加熱袋 ☐ 食器類（紙皿、コップ、割り箸、スプーン） ☐ 食品包装用ラップフィルム ●避難用具 ☐ 懐中電灯（手動充電式） ☐ 携帯ラジオ（手動充電式） ☐ 予備電池・携帯充電器（本体・ケーブル類） ☐ 非常用給水袋 ☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん ☐ レジャーシート	●生活用品 ☐ 耐切創手袋 ☐ 毛布/アルミブランケット ☐ タオル ☐ 歯ブラシ/液体歯磨き・歯磨き粉 ☐ マッチ/ライター・ろうそく ☐ ナイフ・缶切り/アウトドア用ナイフ ☐ ペン・ノート ☐ 衣類・下着・生理用品 ☐ 紐なしの靴・スリッパ ☐ 携帯電話 ☐ 簡易トイレ（排泄物密封型が望ましい） ●救急用品 ☐ 救急用品（絆創膏、包帯、など） ☐ 使い捨てカイロ ☐ 消毒液、常備薬

総務省消防庁「備蓄品チェックシート」より一部改変

避難・救護活動に必要な用品		
☐ 防塵マスク ☐ 耐切創手袋 ☐ ゴム手袋 ☐ 笛 ☐ 救助ロープ ☐ はさみ ☐ カッター ☐ ゴーグル ☐ バール ☐ ブルーシート ☐ 養生テープ ☐ クラフトテープ	☐ ガムテープ・虎テープ ☐ ゴミ袋 ☐ ポリ袋（厚手）段ボール ☐ スコップ ☐ 記録用紙 ☐ バインダー ☐ カーボン紙 ☐ クリップ ☐ 速乾性手指消毒薬・消毒薬 ☐ 絆創膏・サージカルテープ ☐ 包帯・三角巾 ☐ 滅菌ガーゼ	☐ 脱脂綿・綿棒 ☐ ピンセット ☐ 体温計 ☐ 血圧計 ☐ パルスオキシメーター ☐ 防虫スプレー ☐ 上履き ☐ 身分証明書（HPKIカード等） ☐ 名刺 ☐ 連絡先リスト ☐ 災害時要支援者リスト ☐ 自己の健康管理用の医薬品類

※救護用の医薬品の携行については、医療班の体制を確認して判断する。

薬剤師会として準備する用品
☐ 腕章・胸章・防災ベスト・ジャケット類（所属する薬剤師会名/医療機関名を入れる） ☐ ネームプレート/身分証明書（HPKIカード等）を入れるネームホルダー。

資料2 災害時携行医薬品リスト

□ 内服薬

薬効分類（薬効分類コード）	薬効	管理	一般名	規格
催眠鎮静剤・抗不安剤（112）	ベンゾジアゼピン系	向	ジアゼパム錠	2 mg
	ベンゾジアゼピン系	向	プロチゾラム D 錠	0.25 mg
	オレキシン受容体拮抗薬		レンボレキサント錠（非ベンゾジアゼピン系）	5 mg
精神神経用剤（117）	抗てんかん薬		レベチラセタム錠	250 mg
解熱鎮痛消炎剤（114）	非ステロイド性抗炎症薬		ロキソプロフェンナトリウム錠	60 mg
	解熱鎮痛薬		アセトアミノフェン錠	200 mg
総合感冒剤（118）	総合感冒薬		総合感冒薬	1 g/1 包
鎮痙剤（124）	鎮痙薬		ブチルスコラミン臭化物錠	10 mg
止しゃ剤・整腸剤（231）	整腸剤		乳酸菌製剤	1 g/1 包
消化性潰瘍用剤（232）	胃酸分泌抑制薬（PPI）		ランソプラゾール OD 錠	15mg
	胃粘膜保護薬		レバミド錠	100 mg
	H2 受容体拮抗薬		ラファジン錠	5 mg
下剤・浣腸剤（235）	下剤		センノシド錠	12 mg
	下剤		ピコスルファートナトリウム水和物内用薬	0.75%
その他の消化器官用薬（239）	胃腸機能改善薬		メトクロプラミド錠	5 mg
	消化管運動改善剤		ドンペリドン 1%DS（10 mg/g）	1 g/包
不整脈用剤（212）	抗不整脈薬	劇	ベラパミル塩酸塩錠	40 mg
利尿剤（213）	利尿薬		フロセミド錠	20 mg
血圧降下剤（214）	降圧薬		カルベジロール錠	2.5 mg
血管拡張剤（217）	冠血管拡張剤	劇	アムロジピンベシル酸塩 OD 錠	5 mg
	抗狭心症薬	劇	ニトログリセリン舌下錠	0.3 mg
鎮咳剤（222）	鎮咳薬		デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩水和物錠	15 mg
去痰剤（223）	去痰薬		アンブロキシール塩酸塩錠	15 mg
鎮咳去痰剤（224）	鎮咳薬		チベジジンヒベンズ酸塩錠	10 mg
副腎ホルモン剤（245）	ステロイド薬		プレドニゾン錠	5 mg
血液凝固阻止剤（333）	抗凝固薬		ワルファリンカリウム錠	1 mg
	抗凝固薬		エドキサバントシル酸塩水和物 OD 錠	30 mg
その他の血液・体液用薬（339）	抗血小板薬		アスピリン緩溶錠	100 mg
痛風治療剤（394）	痛風治療薬		フェブライク錠	10 mg
糖尿病用剤（396）	スルホニル尿素系	劇	グリメピリド錠	0.5 mg
	ビッグuanid系	劇	メトホルミン錠	250 mg
	DPP-4 阻害薬		テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物錠	20 mg
アレルギー用薬（441, 449）	抗ヒスタミン薬		d-クロルフェニラミンマレイン酸塩錠	2 mg
	その他のアレルギー用薬		フェキソフェナジン錠	30 mg
	その他のアレルギー用薬		モンテルカストナトリウム錠	5 mg
高カリウム血症改善剤（2190）	高カリウム血症改善剤		ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物懸濁用散	5 g/包
グラム陽性・陰性菌に作用するもの（613）	ペニシリン系		アンピシリン水和物 Cup	250 mg
	ペニシリン系		アンピシリン水和物 DS10%（100mg/g）	100 mg
	ペニシリン系		クラバン酸カリウム・アモキシシリン水和物錠	250 mg
	セフェム系第一世代		セファレキシシン Cup	250 mg
	セフェム系第一世代		セファレキシシン DS 小児用 50%（500mg/g）	500 mg
グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの（614）	マクロライド系抗菌薬		アジスロマイシン水和物錠	250 mg
	マクロライド系抗菌薬		アジスロマイシン水和物細粒小児用 10%（100 mg/g）	1 g/包
	マクロライド系抗菌薬		クラリスロマイシン DS10%（100 mg/g）	0.5 g/包
合成抗菌剤（624）	ニューキノロン系		レボフロキサシン水和物錠	250 mg

□ 外用薬

薬効分類（薬効分類コード）	薬効	管理	一般名	規格
解熱鎮痛消炎剤（114）	解熱鎮痛抗炎症薬（NSAIDs）	劇・冷	ジクロフェナクナトリウム坐剤	50 mg
	解熱鎮痛薬	冷	アセトアミノフェン坐剤	100 mg
局所麻酔薬（121）	局所麻酔薬		リドカイン塩酸塩ゼリー2%	30 mL
	局所麻酔薬	劇	リドカイン塩酸塩スプレー8%	80 g
下剤・浣腸剤（235）	浣腸薬		グリセリン	60 mL
血管拡張剤（217）	抗狭心症薬	劇	ニトログリセリン貼付薬 5 mg	5 mg/枚
気管支拡張剤（225）	抗喘薬（β 刺激性）		プロカテロール塩酸塩水和物吸入粉末剤（100 回）	10 μg/回
	抗喘薬（β 刺激性）		ツロブテロール貼付薬 0.5 mg	0.5 mg/枚
	抗喘薬（β 刺激性）		ツロブテロール貼付薬 2 mg	2 mg/枚
その他の呼吸器官用薬（229）	抗喘薬（λ701 [*] 剤 + β 刺激剤）		ブデソニド/ホルモテロールフル酸塩水和物	
その他のホルモン剤（249）	針付シリンジ（インスリン用）		インスリン皮下投与用針付シリンジ（100 単位用）	
眼科用剤（131）	抗アレルギー点眼液		オロパタジン塩酸塩	5 mL
	抗菌点眼薬		レボフロキサシン水和物点眼 0.5%	
化膿性疾患用剤（263）	抗菌薬軟膏		ゲンタマイシン軟膏 0.1%	10 g
	抗菌薬貼付剤		フラジオマイシン硫酸塩貼付剤（10cmx10cm）	
鎮痛・鎮痒・収斂・消炎剤（264）	λ701 [*] ・抗菌薬軟膏		ベタメタゾン・ゲンタマイシン 0.12%	5 g
	鎮痛・抗炎症貼付薬		ロキソプロフェンナトリウム水和物テープ	100mg/枚
	鎮痛・抗炎症クリーム		インドメタシン 1%	25 g
消毒剤	消毒剤		クロルヘキシジングルコン酸塩 5% 手指・皮膚：0.1～0.5%水溶液 手術部位の皮膚・医療機器：0.1～0.5% 水溶液/0.5%エタノール液 皮膚の創傷部位・環境消毒：0.05%水溶液	
	消毒剤		クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール消毒液 1% 手指・皮膚	
	消毒剤（エタノール）		エタノール	
	消毒剤（次亜塩素酸）		次亜塩素酸ナトリウム	
	消毒剤		ポビドンヨード 手術部位（手術野）の皮膚の消毒、手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、熱傷皮膚面の消毒、感染皮膚面の消毒	
	消毒綿		塩化ベンザルコニウム含浸 0.025% 綿球	

□ 注射薬

薬効分類（薬効分類コード）	薬効	管理	一般名	規格
催眠鎮静剤・抗不安剤（112）	催眠鎮静剤	劇・向	フェノバルビタール注	100 mg
	ベンゾジアゼピン系	向	ジアゼパム注	10 mg
精神神経用剤（117）	抗てんかん薬		レベチラセタム注	500 mg
局所麻酔薬（121）	局所麻酔薬	劇	リドカイン塩酸塩 1%	10 mL
鎮痙剤（124）	鎮痙薬	劇	ブチルスコポリミン臭化物シリンジ	20 mg
利尿剤（213）	利尿薬		フロセミド注シリンジ	20 mg
副腎ホルモン剤（245）	ステロイド薬		ヒドロコルチゾン300mg酸エステルナトリウム	100 mg
その他のホルモン剤（249）	インスリン製剤	劇・冷	ヒトインスリン（速攻型）100 単位/mL	10 mL
	インスリン製剤	劇・冷	ヒトインスリン（速攻型/中間型）100 単位/mL	10 mL
糖類剤（323）	ブドウ糖液		5%ブドウ糖液	500 mL
	ブドウ糖液		20%ブドウ糖液	20 mL
血液代用剤（331）	リンゲル液		細胞外液補充液（リンゲル液）	500 mL
	生理食塩液		生理食塩水	100 mL
	生理食塩液		生理食塩水	20 mL
グラム陽性・陰性菌に作用するもの（613）	ペニシリン系		アンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム 1.5g キット	1.5 g
	セフェム系第一世代		セファゾリンナトリウム 1g キット	1 g
	セフェム系第二世代		セフメタゾールナトリウム 1g キット	1 g
毒素及びトキソイド類（632）	トキソイド	劇・冷	破傷風トキソイド	
溶解剤（713）	注射用水		注射用水（細口開栓）	500 mL

□ 検査薬

薬効分類（薬効分類コード）	薬効	管理	一般名	規格
検査用	血糖自己測定器		SMBG	
	ケトン体検査チップ		尿ケトン体試験紙	

一般社団法人日本災害医学会「災害時超急性期における必須医薬品リスト(DMAT による救命救急医療用医薬品を除く) 2021 年度改訂版」を一部改変。

資料 3 災害時携行薬剤関連資材リスト

調剤用物品	
☐ 簡易薬品棚（医薬品を保管するための間仕切り付きケース等）	☐ スパテル
☐ 災害処方箋*	☐ 乳鉢・乳棒
☐ 災害用緊急薬袋/薬札**	☐ メートグラス・スポイド
☐ 投薬ビン	☐ 薬包紙
☐ 軟膏ツボ（5g, 10g）	☐ チャック付きビニール袋（小・中）
☐ 軟膏ペラ・軟膏板	☐ お薬手帳
☐ 天秤/電子天秤（充電式・電池式）	☐ 調剤印
事務用品	
☐ マジック（油性・ホワイトボード用）	☐ ノート、メモ用紙、付箋
☐ ボールペン	☐ ラベルシール
☐ 輪ゴム	☐ ノートパソコン、USB メモリ
☐ セロハンテープ	☐ Wi-Fi ルーター
☐ ハサミ	☐ プリンタ（A4 用紙を含む）
☐ 電卓	☐ スキャナ
☐ ホッチキス（ホッチキス針を含む）	☐ SPADE（薬剤版 J-SPEED）集計表***
書籍など	
☐ 医薬品鑑別事典等（薬剤鑑別のための資料、アプリはオフラインで利用できるもの）	
☐ 医薬品集（医療用・一般用、アプリはオフラインで利用できるもの）	
☐ 治療指針（アプリはオフラインで利用できるもの）	
その他	
☐ 冷所保存の医薬品を保管するためのポータブル冷蔵庫・クーラーボックス	
☐ 冷蔵庫内に設置する温度ロガー	
☐ アウトドア用リュック・バックパック（巡回診療用）	
☐ 体温計、血圧計、パルスオキシメーター	

自然災害発生時における医療支援活動マニュアル、平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 特別研究事業「新潟県中越地震を踏まえた保健医療における対応・体制に関する調査研究」より一部改変

●災害処方箋*（見本）

災害処方箋は、災害救助法の適用地域に投入された救護班が、所持している薬剤が不足している場合等に、救護所など保険医療機関以外で交付され、通常の診療報酬による支払いの対象とならない処方箋をいう。

災 No. _____ 災害処方箋（案）	
※ この処方箋は保険医療機関では応用できないことがあります。	
患者 氏名 性別 年齢 交付年月日	フリガナ 氏名 M・T・S・H・K 年 月 日（歳） 体重（小児の場合） kg 交付年月日： 年 月 日 処方箋の使用期間：交付の日を含めて4日以内
	救護所の名前・所在地 所属する医療機関の名前 連絡先： 処方医師の氏名：
Demographic 性別・年齢	1 ☐ 男性 2 ☐ 女性（妊婦なし） 3 ☐ 女性（妊婦） 4 ☐ 定期服用あり 5 ☐ 3日間以上服用なし 6 ☐ アレルギー 7 ☐ なで避薬
Systemic medication 経口薬	8 ☐ 降圧剤（Ca拮抗薬） 9 ☐ 降圧剤（ACE阻害薬・ARB） 10 ☐ 抗不整脈薬（抗不整脈薬） 11 ☐ 止瀉薬 12 ☐ 解熱剤 13 ☐ 消化性潰瘍薬（H2拮抗薬・PPI） 14 ☐ 消化性潰瘍薬（抗酸剤・制酸剤） 15 ☐ 下剤（塩系下剤） 16 ☐ 下剤（大腸刺激剤） 17 ☐ 鎮痛薬 18 ☐ 抗痙攣薬・抗けいれん薬
Systemic medication 対症薬	19 ☐ 気管支拡張薬・喘息治療薬 20 ☐ 鎮痛薬 21 ☐ 止血剤
Systemic medication 抗微生物薬	22 ☐ 抗真菌薬（フルコナゾール系） 23 ☐ フルフラジン 24 ☐ 抗ウイルス薬 25 ☐ 抗ウイルス薬（ペピシリン系） 26 ☐ 抗ウイルス薬（セファム系） 27 ☐ 抗ウイルス薬（マクロライド系） 28 ☐ 化学療法薬（キノロン系） 29 ☐ 抗ウイルス薬 30 ☐ 抗ウイルス薬
Systemic medication その他	31 ☐ 解熱・鎮痛薬（超短時間作用型） 32 ☐ 解熱・鎮痛薬（短時間作用型） 33 ☐ 解熱・鎮痛薬（超短時間作用型） 34 ☐ 解熱・鎮痛薬（超短時間作用型） 35 ☐ 抗てんかん薬・抗バレーキンゲン薬 36 ☐ 抗てんかん薬・抗バレーキンゲン薬 37 ☐ 抗てんかん薬・抗バレーキンゲン薬 38 ☐ 抗てんかん薬・抗バレーキンゲン薬 39 ☐ 抗てんかん薬・抗バレーキンゲン薬
Topical medication 外用薬	40 ☐ 抗真菌薬（フルコナゾール系） 41 ☐ 抗真菌薬（フルコナゾール系） 42 ☐ 抗真菌薬（フルコナゾール系） 43 ☐ 抗真菌薬（フルコナゾール系） 44 ☐ 抗真菌薬（フルコナゾール系） 45 ☐ 抗真菌薬（フルコナゾール系）
Contract 署名欄	46 ☐ 47 ☐ 48 ☐ 49 ☐
調剤済 年月日 年 月 日 調剤所 氏名	
調剤した薬剤師の所属する 組織の名称または連絡先	

●災害用緊急薬袋**（参考）

オモテ

ウラ

【災害用 緊急薬袋】

処方履歴が記入されています。
繰り返しご使用ください。

おくすり袋

お名前

様

☐内用薬 処方履歴

月日	薬剤名	用法	量・回数
/	1日	回	日分
	毎回	量・回・分	食前・食後
		（ ）ずつ服用	食後2時間
			（ ）時間毎
/	1日	回	日分
	毎回	量・回・分	食前・食後
		（ ）ずつ服用	食後2時間
			（ ）時間毎
/	1日	回	日分
	毎回	量・回・分	食前・食後
		（ ）ずつ服用	食後2時間
			（ ）時間毎

*薬品にも適用の処方履歴があります。

ご注意事項

- 薬をお受け取りの際は必ずお薬のうえ、用法、用量に記してある通りにお使いください。
- 用法に記された「食後」とは食後30分以内、「食前」とは食前30分以内のことです。
- 「速く」とは速く30分以内のことです。
- 薬は湿気、高温、日光を避けて保存し、子供の手の届かない安全な場所で保管してください。
- 誤用後、異常な副作用は、副作用や事故の原因となりますので使用しないでください。

☐外用薬 処方履歴

月日	薬剤名	用法	量・回数
/	うがい薬	坐薬	塗り薬
	用法:		
/	うがい薬	坐薬	塗り薬
	用法:		
/	うがい薬	坐薬	塗り薬
	用法:		

*受取の際には医師・薬剤師にこのおくすり袋を提示してください。

資料提供:公益社団法人新潟県薬剤師会

資料 6-1 災害時の薬剤師業務

被災地における薬剤師の主な活動は、①災害医療救護活動(医療救護所や仮設調剤所での調剤・医薬品適正使用)、②被災者への支援(避難所での公衆衛生・メンタルケア)、③医薬品の安定供給への貢献(医薬品集積所での医薬品管理)、④その他に大別され、災害のフェーズによって活動内容は変化する。

災害のフェーズと災害薬事活動

フェーズ	災害薬事活動
発災直後 (発災～6 時間)	緊急対応救護班のロジスティック支援 被災医療機関・避難所状況・卸の状況などの情報収集 薬剤師チームの派遣準備(本部立ち上げ、人選、物資の準備)
超急性期 (6 時間～72 時間)	保健医療福祉調整本部での調整活動・DMAT との連携 救護班の薬事支援(災害時調剤、DI) 災害時の拠点(支援物資の仕分け・管理)
急性期 (72 時間～1 週間)	救護班への支援(災害時調剤、DI) 避難所での健康管理(薬事トリアージ) 避難所の公衆衛生・環境衛生
亜急性期 (1 週間から 1 ヶ月)	地域医療再開の支援(災害時調剤から保険調剤へ) 地域の保健医療福祉調整本部(撤収に向けた引き継ぎ) 避難所の公衆衛生・環境衛生(公助→自助・共助)
慢性期 (1～3 ヶ月)	被災薬局の復興支援 二次避難所のアセスメント、学校再開に向けた公衆衛生・環境衛生 被災者の健康相談
中長期 (3 ヶ月以降)	被災薬局の復興支援 被災者の健康相談

調剤

1 調剤の場所

薬剤師は、医療を受ける者の居宅等において医師又は歯科医師が交付した処方箋により、当該居宅等において調剤の業務のうち厚生労働省令で定めるものを行う場合を除き、薬局以外の場所で、販売又は授与の目的で調剤してはならない(薬剤師法第 22 条「調剤の場所」)。しかし、災害その他特殊の事由により薬剤師が薬局において調剤することができない場合は、厚生労働省令で定める特別の事情とされる(薬剤師法施行規則第 13 条の 3 第 1 項)。

2 調剤の実態

災害が発生した時、救援に入る被災地ではライフライン(特に水・電気)が途絶しているなかで調剤業務にあたることもある。最近の調剤機器は電化されており、施設内の電気が使用できないため、代替機能をもつ調剤機器を準備しておく必要がある(資料 1-1 も参照)。

断水時の水剤等の調剤は、貴重なインフラである水を洗浄などで大量に使用しないような工夫が必要となる。配水車からの配水の受入れ容器(ポリタンク、折りたたみ式給水袋など)を常備するとともに、注射用の洗浄水(蒸留水)を携行医薬品として準備する必要もある。

年 月 日

所在地
名称

印

災害時医薬品等供給報告書

下記のとおり供給しましたので報告します。

記

- 1 供給先

- 2 供給(引渡)年月日 年 月 日

- 3 供給品名、数量等

[illegible]